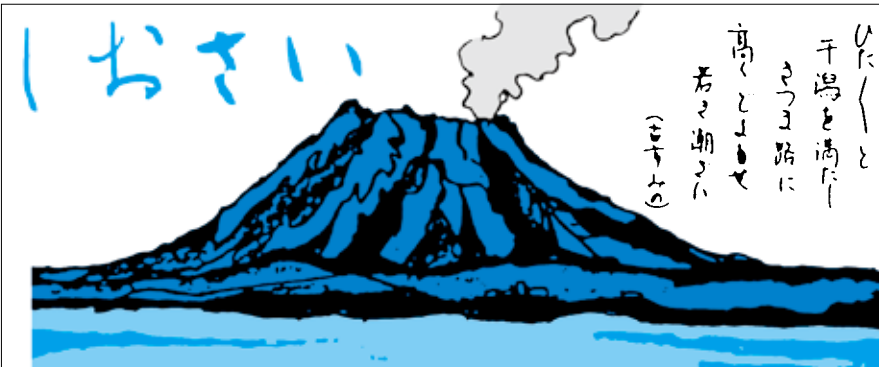




編集発行人

鹿児島大学保健師同窓会 しおさい会
〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
鹿児島大学医学部保健学科
地域包括看護学講座内
会長 児島 淳子

「ホームページに求人情報も掲載中

<https://shiosaikai.org/>

ホームページからも住所変更やしおさい会
セミナーなどの参加申込みが可能です。」

いあいせい

鹿児島大学保健師同窓会
しおさい会会長

児島 淳子 (昭和53年卒)

令和6年が幕を開けました。
能登半島地震や羽田空港の航空機事故など
新年を襲った大災害と事故に、深い悲しみを
おぼえ、犠牲となられた方々に哀悼の意を抱
き、被災地の一日も早い復旧・復興を願うこ
とです。日を追うにつれて、その被害の甚大
さと、その後の災害関連死に至られた事例の
状況等報道され、厳しい現実には様々な対応が
求められています。既に被災地支援等に尽力
されている同窓生もおられるのではと、支援
状況を注視する日々です。
さて、昨年は5月に新型コロナウイルス感
染症が5類感染症に移行し、人流も活発にな
り、鹿児島でも海外からの旅行者も目立つよ
うになりました。更に10月に開催された「か
ごしま国体」「特別障害者スポーツ大会」では、
県外からの選手団や大会の関係者の方々が多
く来られて、大変な賑わいでした。様々な部
署（救護・受付・案内等）において、その業
務に従事された同窓生も多かったと伺いまし
た。10月とはいえ、真夏並みの天候の下、皆様
ご苦労様でした。一見すると、コロナウイル
ス感染症の課題が発生する前の社会に戻った
かのように見えますが、実際は、インフルエ
ンザやその他の感染症の動向にも変化があり、
なかなか気の抜けない日々であり、医療保健
福祉分野に従事されている方々の負担は継続
しているのではないのでしょうか？
ところで、しおさい会の活動を振り返りま
すと、昨年は、第22回総会を前回同様の書面
総会にて行いました。予めの投票等の手続き
にご協力頂き誠に有難うございました。令和
5年から6年にかけての活動を承認頂き、新
しく役員を担って下さる方々を交えての体制
で、同窓会活動を展開しております。総会時

の研修会では、元会長の徳永龍子様に、「しお
さい会の歴史とこれから」をテーマとして講演
して頂きました。（次項に、内容の一部を掲載
しております。）会場で参加したり、リモート
にて参加下さった方もあり、夫々に、印象深く
聞き留め、私たち役員は、本会の目的に向かっ
て活動することの意義を再確認することが出来
ました。また、2年に1度の総会時に懇親会を
開催し親睦を深めるという機会を、今回も見送
りましたので、令和7年の第23回総会の機会に
は、皆様と直接お目にかかれることを切に希望
し楽しみにしております。約6年ぶりの懇親会
をどの会場で開催出来るか検討して参ります。
そして、今年は、「しおさい会セミナー」の開
催の年です。大学のキャンパス内で開催予定で
す。奮って参加頂けると嬉しいですね。
このように、「しおさい会」のこれからの予
定なども紹介しましたが、私達を取り巻く国
内外の情勢は大変厳しい状況です。「地球沸騰
化」の宣告もなされ、自然環境の変化や大規模
災害の報道には危機感を感じます。また、複
数の国の間で戦闘の繰り広げられている現実
は、人の命が危険にさらされ胸が痛くなります。
更に、生成AIによる偽情報の拡散等もあり、「何
を信じたら良いのか？」と考えさせられます。
だからこそ、自然の移ろいを季節の変化として
実感でき、安全なところで健康で文化的な営み
の出来る日々が続きますようにと祈ることです。
おわりに、皆様が、今後もしおさい会の活動
に関心を寄せて頂き、一層のご支援とご協力を
賜りますようお願い申し上げます。そして、
本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になり
ますように祈念し、令和6年の御挨拶とさせて
頂きます。

第10回しおさい会セミナーご案内

【日時】令和6年5月18日(土) 10時～12時

【場所】鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学実習室

【内容】『地域でかがやく よりそい力
～お互いに学び合う～』

- ・ボランティア団体チーム Maru 代表者
西村 るり子 氏 (昭和54年卒)
- ・ボランティア学生 (サークルかすみそう)
- ・鹿屋保健所 高田 紗矢 氏 (令和3年卒)

どうぞご参加ください！

【参加料】無料

【申し込み】しおさい会ホームページ
<https://shiosaikai.org>

お申し込みフォームはこちら→

【締め切り】令和6年4月30日(火)

【担当】090-3190-6499 (吉住嘉代子)
090-2964-9151 (帖佐 桂子)



第22回 同窓会 総会 報告

令和五年八月五日(土) 鹿児島市勤労者交流センター(愛称・よかセンター)にて、第二十二回総会が開催されました。本年度も前回総会に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面総会の形で行うこととし、二八四名の会員の方から書面表決書をご提出いただきました。結果は次の通りです。

【議長承認】

議長 末吉 紀子さん

(承認二六七・不承認0)

【議決議案】

第二号議案 令和三・四年度収支決算及び監査報告(承認二七八・不承認0)

第三号議案 令和五・六年度事業計画(承認二七八・不承認0)

第四号議案 令和五・六年度収支予算書(承認二七八・不承認0)

第五号議案 役員改選(承認二七八・不承認0)

この結果により、本会会則第十条及び第十一条の規定に則り承認多数で全ての議案が決議されました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

総会は議長(昭和六十一年卒の末吉紀子さん)・議事録署名人(昭和五十九年卒松崎亮子さん)・執行部により四提出議案・一議題について審議・報告され

ました。

初のハイブリッド方式による第九回「しおさい会セミナー」の開催、検討事項として、会員数の割合に対し、会費納入者数の減少により収入が減少し会の運営に支障が出てきていることから、今後の同窓会活動の在り方について再検討していく必要がある事があげられました。会員の方から「会員数の割に会費納入者が少ないことに驚きました」「保健師学校卒と大学卒の会員の考え方の違いもあると思う」「納入を促す文書を一筆入れたり何か対策はないものでしょうか」「ホームページを充実させて、同窓会通信を数年越しという訳にはいかないでしようか」等のご意見、ご提案を頂きました。

最後に新役員の紹介が行われ、総会は終了しました。

一 令和三・四年度報告

一 事業報告

(一)同窓会総会の開催

(二)同窓会通信「しおさい会三七二八号」の発行

(三)同窓会新入会員推進活動

(四)同窓会入会の説明

(第二十二期生)

(一)同窓会新入会員推進活動

(二)卒業生入会希望者へ

祝電・記念品贈呈

(第二十二期生)

卒業式中止のため

記念品贈呈のみ

(第二十二期生)

卒業式に列席及び
お祝いメール配信・
記念品贈呈

(四)研修会

①総会時

コロナ感染拡大防止の

観点から中止

②しおさい会セミナー

(令和四年度)

(五)運営に関する会議

①役員会 十二回開催

②クラス連絡委員会

三密回避のため中止

(六)ホームページの管理

二 庶務報告

(一)会員 一三八六名

(令和五年三月三十一日

現在)

新規会員

令和三年度 六名

令和四年度 九名

(二)会報発送数

令和三年 七七一通

令和四年 七六三通

三 決算報告(三頁参照)

二 令和五・六年度計画

一 事業計画

(一)同窓会総会の開催

(令和五年八月)

(二)同窓会通信「しおさい会

発行

(三)同窓会新入会員推進活動

(四)研修会

(令和五年度総会時・

令和六年度しおさい会

セミナー)

(五)運営に関する会議

(六)ホームページの管理

二 予算(三頁参照)

三 役員改選(三頁参照)

総会研修会

「しおさい会の歴史とこれから」

～鹿児島大学保健師同窓会の

在り方は?～

講師 徳永 龍子氏



開催日時・令和五年八月五日(土)

場所・鹿児島市勤労者交流

センター(よかセンター)

七階 第一会議室

わたしが保健師の能力に目覚めたのは、昭和三十六年頃(十四歳の時)。

そのきっかけは、ポリオが昭和三十五年頃大流行し、翌年三十六年から一万人の保健師が生後六か月から三歳までの一三〇〇万人に経口接種を行ったところ、翌年にはポリオ患者が激減したというニュースを目にしたことだった。

本県の保健師教育は、鹿児島県立保健婦養成所が昭和十七年に全国で二番目に開設されたことから始まる。その時の保健師教育の理念は、「僻地性に富み離島が多い本県の特長事情に即しては、保健衛生こそが県政の重点課題であり、地域創成の未来に貢献できる人材育成、地方保健衛生の目的達成をめざす。」こ

とであった。

その後、幾度の校名、体制の変遷を経て、令和八年四月には、大学院前期博士課程公衆衛生看護学コースが開設され、保健師養成は大学院課程で行われることとなる。

鹿児島大学保健師同窓会「しおさい会」は、昭和五十四年一月に発足した。しおさい会主催の講演・研修・セミナーは、活躍中の保健師、同窓生、恩師等が集い、意見交換や学び合いにより、自ら考え行動できる力を育むことを目的に開催されている。

保健師が人間社会のために働く力として、「前に踏み出す力(保健師の主體的な学び)」「考え抜く力」「チームで働く力」が重要である。

更には、何のために業務(事業・活動・検討)に取り組むのか、最終的に「住民の幸せ」や「健康な地域づくり」につながっているかを意識することが、目指すべき保健師活動の理念である。

これからのしおさい会は、「地域の実情に即した住民の幸せと暮らしを最期まで支える地域包括ケアネットワークを構築できる人材の養成と担い手になること」と、また、「保健師活動の未来展望を抱き、看護の将来を見据え、あるべき姿に向かい学ぶ学生と会員を支援継続すること」を目標に掲げ、活動できることを願っている。

(文責・盛満・栗脇)

令和3・4年度収支決算書
(令和3年4月1日～令和5年3月31日)

〔収入〕				〔単位：円〕
科 目	予算額	収入済額	増減額	備 考
会 費	800,000	911,500	111,500	会費（342名） 卒業時入会（R4卒6名）
雑 収 入	15,000	34,097	19,097	寄付（水田様、徳永様） 定期預金満期利子14,073円、普通預金利息24円
繰 越 金	1,653,867	1,653,867	0	前期からの繰越金
計	2,468,867	2,599,464	130,597	

〔支出〕				〔単位：円〕
科 目	予算額	支出額	差引額	備 考
会 議 費	1,000,000	273,955	726,045	総会、セミナー、役員会
研 修 費	100,000	24,000	76,000	研修会講師
印 刷 費	300,000	250,931	49,069	会報「しおさい第36号と37号」、宛名シール
事 務 費	130,000	133,522	△ 3,522	事務用品（USB、コピー用紙、インク代等）、役員手当
通 信 費	500,000	268,887	231,113	会報「しおさい第36号と37号」の送料、ホームページ管理費
慶 弔 費	50,000	10,000	40,000	藤野元会長の香典代
振込手数料	50,000	58,837	△ 8,837	会費納入時の手数料、会報誌代金等振込手数料
雑 費	100,000	3,000	97,000	卒業生記念品（図書券500円×6人）
予 備 費	238,867	0	238,867	
計	2,468,867	1,023,132	1,445,735	

収入合計 2,599,464円 支出合計 1,023,132円 = 差引残高 1,576,332円

令和5・6年度収支予算書
(令和5年4月1日～令和7年3月31日)

〔収入〕				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	備 考
会 費	800,000	800,000	0	入会金、会費
雑 収 入	15,000	15,000	0	寄付等
繰 越 金	1,576,332	1,653,867	△ 77,535	前期からの繰越金
計	2,391,332	2,468,867	△ 77,535	

〔支出〕				〔単位：円〕
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	備 考
会 議 費	1,000,000	1,000,000	0	総会、役員会、連絡員会
研 修 費	100,000	100,000	0	研修会
印 刷 費	300,000	300,000	0	会報「しおさい」、宛名シール 等
事 務 費	150,000	130,000	20,000	事務用品、役員手当
通 信 費	500,000	500,000	0	会報「しおさい」送料、ホームページ管理料等
慶 弔 費	50,000	50,000	0	
振込手数料	60,000	50,000	10,000	
雑 費	100,000	100,000	0	大学との連携 他
予 備 費	131,332	238,867	△ 107,535	
計	2,391,332	2,468,867	△ 77,535	



前列左から1人目：議事録署名人 松崎亮子様、2人目：議長 末吉紀子様
前列左から3人目：兒島淳子会長、4人目：徳永龍子氏

長い間お疲れ様でした。

〔退任役員〕		〔新役員〕	
理 監 会 書 副 会 長	事 事 計 記 長	理 監 会 書 副 会 長	事 事 計 記 長
笹 小 山 笹	西 帖 今 羽 吉 樋 川 上 鋪 栗 盛 松 兒		
川 満 田 中 川	青 佐 辻 住 口 崎 村 根 脇 満 永 島		
由 友 香	木 桂 香 嘉 治 誉 香 加 ひと め 絹 淳		
美 子 容	代 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子		

還暦を迎えて

今改めて保健師活動に思うこと

昭和59年卒 久保 倫子

鹿児島県保健師としての勤務や退職後に保健所や市町村の保健師活動に関わり、保健師として「つながる」ことと「つなげる」ことの大切さを実感しています。私達の退職前にコロナが蔓延し、最後の2年間はほぼほぼコロナ対応に追われながらの日々でしたが、それ以前からの市町村保健師や医療・介護関係者とのつながりがあつたからこそ、業務を円滑に進めることができたし乗り越えられたと思っています。公衆衛生活動において、ネットワークの構築等平常時の準備の重要性を言われますが、まさに市町村や医療機関、介護事業所と顔の見える関係ができていたことで助けられることも多かったと思います。併せて、先輩方や後輩の皆様のおかげでなんとか責任を全うすることができましたこと感謝しています。

そして今、市町村の保健事業や保健師や介護支援専門員等の人材育成に携わる機会をいただき、月に十日ほど保健師と関わらせていただいています。乳幼児健診や訪問指導など個別に住民に関わる楽しさを改めて実感しています。活動を通して、住民の声を聴き、健康づくりを共に考えながら事業を検討していくわくわく感を感じられる保健師の醍醐味を伝えられたらと思っています。

新たな挑戦として、名瀬保健所勤務になり実家での生活が始まった頃から、親の介護予防と私の健康づくりを兼ねて「畑仕事」を始めました。

放置状態が続いていたので荒れ放題となつた土地を畑に耕し、種植えや収穫となると張り切る親に手伝ってもらい、季節を感じながら楽しんでいきます。仕事の大半は草取りなのですが、無心で汗をかけ日常の雑多を忘れるいい時間になっています。野菜作りは思うように収穫できないことが多いですが、自然が相手なので、「こんなもんなかな」って

いい意味での『妥協』もでき、発芽し少しずつ成長する姿を見ながら食べ頃を迎える時に思つた以上に収穫があると喜びは倍増します。畑仕事をしていると「気持ちの持ちようや段取りがなんか保健師活動に似ているな」って思います。保健師として地域と関わりながら、日々の生活に喜びを見出していききたいです。

ご縁と元気に感謝の日々

昭和60年卒 大野 佳子

(旧姓…西村)

忘れたころに届く鹿児島大学保健師同窓会からのお便り「しおさい」は懐かしく、皆がんばっているんだな」と、温かく有り難い気持ちに包まれます。

さて、還暦のお年頃になつて感じること……日々生きていくことに感謝。朝、目が覚めたことに感謝、背筋を伸ばして速歩できることに感謝、美味しくご飯をいただけることに感謝、仲間と大笑いできることに感謝、いまだ正規雇用の仕事とのご縁があること

に感謝……。最近、娘が良いい方とご縁あり、結婚によって家族の輪が広がったことが本当に有り難く、安堵とともに感謝でいっぱい気持ちをもつて過ごしております。

残念ながら、保健師の同期生(24回生)と連絡を取り合うことはほとんどないです。

一方、看護師の同期生(32回生)とは、「還暦同窓会をしよう!」と、3年ほど前から34名のグループLINEを結成し、季節の変わり目や各々の出来事を共有するコミュニティの場になっていきます。最近では、病気で入院中の同期生を支え励まし合うために、多い時で1日60会話ほどが繰り広げられています。例えば、本人が「夜間、23時、嫌いな時間。乾燥で咳するので、痛いほどでもないけど、セデスのんだら咳もなくなり、また寝られた。」とつぶやけば、「セデスは効くんだね。効くものがあるのは良いね」「徳之島では深呼吸して「ふーいきーしたばーれ」と言います。島でのかけ声です。現役時代は良く使っていました。深呼吸は、普通にしているからね。気持ちも呼吸も落ち着きます」など同期生からのリアクションがある感じ。本人の不安や重い気持ちをそつと受け止めてくれる人がいて、苦痛が和らぐのをLINEで感じ取ります。どこにいても、いつでも支え合い、励まし合える関係は、あの青春時代に看護学実習をはじめ戴帽式をやるのやらないのと大論議し、大学病院の食パンとバターをおやつにし、苦業を共にした同期生だからこそ、共有できるのだと思います。

前回の総会ではオンラインで繋がる良い機会をいただいたのに、仕事とのタイミングが合わず、参加された皆様とお会いすることが叶いませんでした。またの機会を楽しみに、これからもよろしくお願ひいたします。

呼吸は、普通にしているからね。気持ちも呼吸も落ち着きます」など同期生からのリアクションがある感じ。本人の不安や重い気持ちをそつと受け止めてくれる人がいて、苦痛が和らぐのをLINEで感じ取ります。どこにいても、いつでも支え合い、励まし合える関係は、あの青春時代に看護学実習をはじめ戴帽式をやるのやらないのと大論議し、大学病院の食パンとバターをおやつにし、苦業を共にした同期生だからこそ、共有できるのだと思います。





北薩地域振興局

保健福祉環境部

健康企画課企画管理係

令和5年卒 楠見卓真さん

4月から鹿児島県の保健師として入庁してから8ヶ月が経ちました。皆様いかがお過ごしでしょうか。現在、私は川薩保健所の企画管理係保健師として、保健所の衛生管理や統計調査事務に従事しています。企画管理係保健師は、主に地域医療構想や地域医療連携計画の見直しを行います。今でこそ、企画管理係保健師が担っている役割を理解していますが、配属された当初は、自身が思い描いていた「保健師像」と全く異なるという印象でした。

自身の保健師像は、対人業務があり、地域の実情や住民の声に耳を傾けながら地域課題解決に向けて取り組む保健師でした。しかしながら、蓋を開いてみると対人業務は全くといっていい程無く、保健

師の専売特許ともいえる健康教室も実施する機会はなく、「これは私が保健師になつてまでしたかった仕事なのか」と、苦悩していた時期もありました。

そんな中、企画保健師の役割を見いだす機会がありました。担当業務である保健所の衛生管理です。主に「衛生委員会」の運営です。衛生委員会では、職場改善を図るための方針やそれに向けた職員の役割分担を考える必要があります。環境改善するには、何が原因でどう行動するか示す必要があります。行動を起こす際、根拠や統一方針を掲げる必要性を強く感じました。このとき、企画管理係保健師の一業務である「計画見直し」も大規模になっただけで、関係者が同じ目的を持って行動できるような「基幹づくり」を担っているのだと感じる機会にもなりました。

このことから、対人業務とは違う保健師像を感じることができ、一見異なる業務でも役割や意義に「気づかされる」ことがあると学ぶこともできました。

県保健師は、成果が見えづらい業務が多い職種だと思ひ

ます。その中でも、小さな発見と「自身の業務はサービス提供に欠かせない」という誇りを持って、先輩方や同期と情報交換を行いながら楽しく業務に励んでいます。

職場紹介

鹿児島厚生連病院

健康管理センター

健康指導課

令和5年卒 田中杏奈

鹿児島厚生連病院健康管理センターは1977年（昭和52年）にJA組合員・地域住民の健康問題に対応する目的で設立され、そこから45年以上にわたって県民の皆様の健康を守っています。大きく診療部門と健診部門の2つの部門に分かれており、私の勤務している健康管理センターでは主に人間ドックや健康診断を行なっています。健康管理センターは厚生連病院と同じ建物内にあるため、予防から医療までの一貫した体制による保健・医療活動が実施できる点が特徴です。保健師は、健診業務に携わる健康指導課と産業医契約を締結し各事業所の産業保健活動を行う健康支援課に配属されています。

ここでは私の配属先である健康指導課について紹介しようと思います。健康指導課は現在保健師24名、看護師7名、事務職3名が働いています。多様な世代の職員が協力し合いながら仕事を行っており、職場全体で友好的な雰囲気があります。主な業務内容は、人間ドック・健康診断の問診や結果表作成、結果報告会、事後管理、健康教室、特定保健指導です。健康診断は施設内だけでなく、県内の本土から離島まで巡回健診を行なっています。年間約4万人、これまで延べ100万人以上を診察し、離島や交通が不便な土地など、気軽に定期健診を受けられない地域の人々に健康について見直す機会を提供してきました。私はこの巡回健診に魅力を感じ厚生連に入会しました。地域の皆様の生活している場所に向くことでその土地柄や人の温かさに触れたり、時にはそこでしか食べられない美味しいグルメを食べることが私の楽しみでもあります。健診準備から結果報告会まで保健師としての責任は大きいですが、行政やJAの方と協力して健診をスムーズに進めたり、受診者

の方々に保健指導を行なったりすることで自分自身の成長を感じることが多いです。適切な指導やサポートを受けながら成長できる環境が整っていることに感謝しながら、今後も保健師としてのスキルアップに努めていきます。最近、偶然にもたまたま取った電話の相手が鹿児島の保健師の同期でとても嬉しかったという経験をしました。今後、健診先の様々な場所で私に会うことがあるかも知れません。その時は是非気軽に声をかけてください。



会計係からの



おしらせ

会費納入をお忘れではないでしょうか？

しおさい会では、会報誌の作成や隔年毎の総会及びセミナーの開催、連絡員との交流会など、皆様の会費で活動が成り立っています。

しかしながら、会員数と会費納入は減少傾向にあります。

左下の「同窓会費の納入方法について」を御覧いただき、会費の納入を忘れずにお願いします。

しおさい会ホームページ ご活用ください！

☆イベントや求人情報、しおさい会セミナー、
総会の様子などもご覧になれます。

☆入会希望／住所・氏名の変更／会報が届かない方

☆求人情報を掲載したい、イベントを掲載したい方

→メールからお問い合わせください。

本号や過去の号もご覧になれます！

しおさい会

検索

「会報誌しおさい」のお届けについて

同窓生をつなぐ「会報誌しおさい」は郵送でお届けしていますが、しおさい会ホームページでは、過去の発行分も含めご覧いただけるようになっていることから、若い会員の方を中心に「郵送は不要です」との声が聞かれています。

ついては、次号以降は希望されない方には郵送を遠慮することとなりました。

もちろん、紙面には、封筒を開ける時のドキドキ、紙の香り、手触りなど、電子画面にはない味わいがあります。よって、郵送を希望される方には、これまでどおり郵送しますので、ご安心ください。

- ◆ 郵送を希望されない方は、QRコードから「**会報誌HP
閲覧入力フォーム**」へ必要事項を入力してください。

概ね9月末頃までをお願いします。

※「総会案内」、「会費納入のお知らせ」は、これまでどおり
郵送します。

- ◆ 郵送を希望される方は、手続きは必要ありません。



事務局では、ホームページ上の会員ページの作成や、事前登録された会員のアカウントへの会報誌の一斉送信など検討中です。体制が整い次第、ホームページでお知らせします。

同窓会費の納入方法について

同窓会の振込用紙をお持ちの方は用紙を使用してお振込ください。振込用紙を紛失された方は、下記の口座へお振込をお願いいたします。**ATMはご利用できません。**振込手数料はしおさい会で負担します。

口座番号：02000-7-11221

加入者名：しおさい会 郵便局：振替

※依頼者欄に氏名・卒業回生
(卒業年)を忘れずにご記入下さい。
(例) R6年3月卒業
シオサイ カイコ

編集後記

この度、皆様のご協力によりしおさい第39号をお届けすることができました。お忙しい中、快く寄稿いただきました方々に心より感謝申し上げます。

5月には「しおさい会セミナー」を開催予定です。今後も会員の皆様との繋がりを大切に、保健師活動を支える同窓会を目指していきたいと思っています。